

春日神社



社報 春日神社

第二十五号

発行日 平成28年6月20日

発行者 〒870-0031

大分市勢家町4-6-87

春日神社 宮司 宮本隆之

TEL 097-532-5638

題字 東郷平八郎

もくじ

宮司挨拶／祭典ごよみ／茅の輪神事／春日大社式年造替

特別寄稿 参議院議員 山谷えり子／婚礼部からのお知らせ

春日敬神婦人会日帰り親睦会／蓬莱雅集会の活動

人事／夏季大祭

御挨拶

宮司 宮本 隆之

先ず以って、四月十四日以降発生しております「平成二十八年熊本地震」に於いて犠牲になられました方々に哀悼の誠を捧げますと共に、被害に遭われました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。今回の震災では本県内でも震度五強の大きな揺れを観測し、由布市を中心に多くの被害が出ております。県外の神社関係者また崇敬者の方々より、お見舞いの電報や電話を多数いただきました。この場を借りまして深く感謝を申し上げる次第でございます。当社境内では絵馬堂の瓦屋根にずれが生じた事と、末社の玉垣が傾いた程度で幸いにも大きな被害はありませんでした。また併せて本殿も震災からの復興造営以来、来年で五十年を数えますことから、専門業者に依頼し全面的な点検を行った次第であります。地震大国「日本」の宿命とはいえ、尊い生命や貴重な建造物を失う辛さは何ものにも変え難い苦しみであり、あらためて天災の恐ろしさを感じさせられました。

さて五月末には、伊勢志摩にて先進七ヶ国首脳会談（G7）が開催され、各国の首脳が揃って伊勢の神宮に参拝、日本の素晴らしい歴史・伝統・文化を感じて頂けたと存じます。また米国のオバマ大統領はG7終了後広島を訪れ、原爆資料館を拝観した後、平和記念公園の原爆慰霊碑に献花、核廃絶と世界の平和についての強い気持ちを語り、被爆者の方々と言葉を交わされました。終戦から七十年が過ぎてなされたこの歴史的出来事を前に、「戦争」と「震災」とは違うことのようにですが、現代を生きる我々は新たな苦難を乗り越え、そして次代に貴いものを守り繋げて行かなければならないことだと心に誓った次第であります。

これから季節は梅雨から夏へ移ります。当社では水無月の大祓式、そして夏越大祭へと祭事が続きます。この神事もまた先人達が受け継いできた暑い夏を越すための伝統行事であり、日々の祭典と併せて肅々と奉仕して参りたいと存じます。本報内にも祭典のご案内を掲載しておりますので、どうぞご参拝くださいますようお願いしております。

皇室の弥栄と氏子皆様のご平安をご祈念申し上げ、巻頭の挨拶とさせていただきます。

祭典ごよみ

六月 三十日 水無月大祓式

七月 十八日 夏季大祭 宵祭

子ども神輿巡行

十九日 夏季大祭 夏越大祭

大神輿巡行

九月二十五日 撰社天満社祭

十月 十八日 秋季大祭 宵祭

十九日 秋季大祭 神幸祭

潮搔き神事

十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月二十三日 天長祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

● 毎月一日・十五日は月次祭

夏越の大祓 茅の輪神事のご案内

一年のちょうど半分にあたる六月三十日には全国の神社で大祓式が行われます。この日、境内に茅（かや）で作られた輪が立てられ、「茅の輪（ちのわ）神事」と呼ばれる行事が執り行われます。この神事は半年の間に知らず知らずして身についた罪穢れを祓い除いて、無病息災・厄難消除を祈る神事です。

特に水無月の大祓式は、「夏越の大祓」とも呼ばれ、元気に暑い夏を乗り切るとともに、新たに迎える半年をさわやかにまた清らかに過ごしていこうとする、私たちの祖先の生活の知恵とも言えるべきものです。

当社では三十日当日の朝から、神職の手により一本一本選り分けられたみずみずしい茅と青竹で作られた「茅の輪」が本殿前に設けられます。

近年、有難いことに一般の参列者が増加傾向にあり、本殿内の著床人数に限りがあることから、せっかくのご参拝に不都合が生じるようになってきました。これを受け、今年度から一般の希望者を対象とした「大祓式」を左記のとおりに行行いたします。ご都合に合う日時をご確認の上、是非来社ください。またこの「茅の輪」は境内に数日間残しています。

水無月の夏越の祓いする人は 千歳の命延ぶというなり



一、祭典日時

六月三十日（木）

午後五時

右同

午後六時

一、当日の流れ

七月 二日（土）

午後三時

- ① 祭典前に受付にて人形（ひとがた）に氏名を記入
- ② 神職による大祓詞奏上、切麻・大麻によるお祓い
- ③ 茅の輪くぐり
- ④ 御本殿にて祈願祭参列
- ⑤ 撤下品（おさがり）授与
- ⑥ 終了

※祭典は神職により執り進められます。所要時間は約三十分です。

一、初穂料

お一人様 一千元

● 茅の輪のくぐり方

茅（かや）で作られた大きな輪のことで、それをくぐるにより、知らず知らず犯した罪やけがれが祓われると云われています。くぐり方には決まりがあつて、左まわり・右まわり・左まわりと、8の字を書くように三度くぐり抜けます。そうすると身も心も清らかに祓われると云われています。



春日大社 第六十次式年造替 橿原神宮 神武天皇二千六百年大祭

権禰宜 妻垣 常彦

当社の御本社にあたる春日大社では二十年毎の式年造替による本殿遷座祭が今秋に執り行われます。また、初代神武天皇をおまつりする橿原神宮では二千六百年大祭が四月に斎行されました。この記念すべき節目を迎えた関西の二社をご紹介します。

春日大社

御由緒

全国春日社の総本社と仰ぐ奈良県の春日大社は、今からおよそ千三百年前、奈良に都が出来た頃、遠く茨城県の鹿島神宮より武甕槌命を神山御蓋山山頂浮雲峰にお迎えし、神護景雲二年（七六八）十一月九日、称徳天皇の勅命により左大臣藤原永手が社殿を造営。千葉県の香取神宮から経津主命、また大阪府の枚岡神社から天兒屋根命と比売神（四神を春日皇大神、また、春日四所明神、春日大明神という）をお招きし、あわせてお祀り申し上げたのが同社の始まりとされます。

平成十年十二月には、春日大社や春日山原始林を含む「古都奈良の文化財」がユネスコの世界遺産に登録もされました。また全国には約三千社に及ぶ御分社があり、当春日神社もその一社となります。

第六十次式年造替

御創建以来、節目毎に式年造替が行われ、社殿を造り替えてきました。この儀式は、大神様がお鎮まりになる本殿を始めとする社殿や、大神様の御神宝等を造り替えるものであり、新しくすることにより、御神威の更なるご発揚を願う大事な神事とされています。同社では創建以来ほぼ二十年毎に執り行われており、今次は第六十回目を数えます。平成十九年（二〇〇七）の一ノ鳥居より始まり、平成二十八年の御本社御本殿の正遷宮をもって完了する予定とのことです。

*平成二十七年三月二十七日 仮殿遷座祭（下遷宮）執行
*平成二十八年十一月六日 本殿遷座祭（正遷宮）執行

橿原神宮

御由緒

本年は我が国の基を築いた第一代神武天皇様が崩御されてより、二千六百年の節目の年を迎えました。去る四月三日、天皇皇后両陛下におかせられましては、神武天皇二千六百年大祭に併せて、畝傍山の神武天皇御陵ならびに橿原神宮を御参拝なされましたことは、報道等でご存知のことと思います。

同社は、明治期に天皇の御聖徳を永遠に尊び敬いたいと、御即位された橿原の地に神宮創建の機運が国民から高まり、明治二十三年（一八九〇）四月二日、官幣大社橿原神宮として御鎮座となりました。

神武天皇二千六百年大祭

同社では本年春、神武天皇二千六百年大祭を斎行するにあたり、三十九年ぶりに本殿の松皮屋根の葺替や、殿内装飾、御神宝の新調等の記念事業が昨年より執り行なわれてきました。中でも本殿は、明治二十二年（一八八九）に安政二年（一八五五）に建てられた京都御所の内侍所が移築された由緒ある建物で、国の重要文化財に指定されています。工事に先立ち昨年、仮殿遷座祭を斎行し、一年をかけて修繕工事を行ない、この度無事完成となり、三月八日には本殿遷座祭が厳肅な中に斎行されました。

神武天皇二千六百年事業国家安寧祈願祭

— 神道青年全国協議会により斎行 —

四十代未満の全国若手神職で構成する神道青年全国協議会では去る六月八日、神武天皇崩御二千六百年の本年、橿原神宮にて「国家安寧祈願祭」を斎行致しました。

奉仕員は橿原神宮職員と各都道府県二、三名の会員（当県からは大分県神道青年会会長小野眞一郎早吸日女神社宮司と当社妻垣が参加）で、全体では一七名となり、斎服姿の神職が整然と約二時間半に渡ってのご奉仕となりました。

神青協では二十六年前の平成二年に、「皇紀二千六百五十年祭」を同様な形式で斎行しており、この時は当社宮本宮司と山本欄宜が奉仕しています。このような意義ある年の祭典にご奉仕できましたことを感謝するとともに、今後の社頭奉仕・神青活動に活かしていきたいと思っています。

当社では、総代ほか関係者による研修旅行を毎年実施していますが、本年は右記の二社参拝を予定しています。



神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長 特別寄稿



参議院議員・前国務大臣

山谷 えり子

「父の背中」

今年の十一月二十八日、亡き父 山谷親平の三十三回忌を迎える。

七月に改選期を迎えるため、例年以上に全国を休みなく飛びまわっているが、今でも「お父さんのラジオを毎朝聴いていた」、「親平さんの『絶望は愚か者の結論なり』の言葉で、人生をやり直すことができた」など、たくさんのお声をかけていただく。

中には、加藤隼戦闘隊で父と共に戦った方との出会いや、家族も保存していなかったラジオのテープをダビングしたものを送りくださった方もいる。

ふと思いついては、テープを聴いてみる。三十四年間いつも傍にいた父の声。

みるみるうちに、私もただの子供となる。

父の放送で、数回にわたって男の条件について語ったことがあった。「ひっぱたかれても屁とも思わない強靱さ、ピンチを平気で切り抜けていく男。ピンチになっても怖がらない。やせガマン。これが『男の魅力』」

「『男の人生』…人生は挑戦した目標に向かって継続すること。続けばベテランという味になる。自分をコントロールしながら、一つの目

標めがけて努力をしてやめない。」
女の魅力、女の人生にも通じるものだと、一人のリスナーとして聴くこともある。

先日、新聞の読者欄を読んでいたら、栃木県の七十五才の男性が主張欄を読んで故山谷親平さんを思い出したという記事を目にした。「山谷さんは二十年間、ニッポン放送でラジオパーソナリティーを務めた産経新聞政治部記OBですが、朝の番組で日本人をよく叱り、われわれは『そうだ!』と共感したものだ」という内容のものであった。

歯に衣させぬ父の語り口に、当時の私はハラハラすることもあったが、三十年以上を超えてなお、父のことを思い出してくれている方々がこんなにもいてくれることは父にとって最高のプレゼントであろう。

小学校低学年の頃、父に連れられレストランに行った時、将来の夢を聞かれ「新聞記者」と答えた私に「いいねえ。えりちゃんのそのナイフとフォークの使い方なら、将来新聞記者になってアメリカの大統領と記者会見したあと、ホワイトハウスにディナーに呼ばれても大丈夫だよ」と言った父。

この言葉で「人生って、けっこう面白いみたいだ。人生やりたければ、いろんなことがやれるんだ」と強烈な光と解放感に包まれた。私にとって転機となる一言でもあった。

三児の母となり、編集長となり、国会議員となり、大臣という重責にもつかせてもらったが、六十二才で逝った父の年齢を超えても、未だ父の背中をこえることはできない。

神道政治連盟は昭和四十四年に、世界に誇る日本の文化と伝統を後世に正しく伝えることを目的に結成されました。日本らしさ、日本人らしさが忘れられつつある今、この国に誇りと自信を取り戻すために、さまざまな問題に取り組んでいます。





春日ウェディングの
パンフレットが
新しくなりました！



お料理も素敵で美味しい新メニューが完成。

ご婚礼のお二人の大切なお客様をおもてなしする婚礼料理です。

旬の新鮮食材を味わう至福のひとときへご招待します。

ご興味を持って頂けた方、新しくなったブライダルパンフレットを
まだご覧になっていない方は、ぜひご来社ください。

皆様のお問合せを心よりお待ちしております。

春日神社ブライダルフェア

KASUGA COLLECTION

ブライダルファッションショー

2016.7.31(SUN)

OPEN 13:30 / START 14:00

『^{えにし}続く縁、^{えにし}始まる縁』



私たちが愛を誓うこの場所。
このさきも家族の絆がずっと続く
春日の杜へ。

ウェディング・七五三・成人式の
ファッションショーをお楽しみ下さい。

お問合せ／お申込み

春日神社 婚礼担当

TEL.097-532-5638

大分市勢家町4-6-87

- 当日は入場無料（予約優先）となっております
- 婚礼をご成約の方には素敵な特典がございます
- ご結婚予定がなくてもご参加いただけます
ぜひご家族やご友人も一緒にお越し下さい

春日敬神婦人会 日帰り親睦会

会長 續 道子

当会では、毎年六月に日帰り親睦会として県内各地の神社へ赴き、その地域の様々な伝統文化を学び見識を深めようと、参拝研修を行っております。今回は神社から山本柝宜・青井権柝宜の二名引率のもと、宇佐八幡の影響を受け神仏習合の文化でも有名な国東半島を訪ねました。

春日神社御神前で月次参拝を終えた私たちは、国東半島を東回到りに国道二一三号線を進み、国東市国見町鎮座の伊美別宮社へと向かいました。当日はあいにくの曇り空で、遠くに霞がかかるような天候でしたので、残念ながら風光明媚な瀬戸内海の遠景を眺める事は叶いませんでしたが、かえって過ごしやすい陽気となりました。

伊美別宮社ではまず正式参拝を行い、小深田二大宮司様より神社の由緒や、秋の例祭にて行われる流鏝馬や神楽についてお話しをお聞きしました。特に流鏝馬については、騎手を担う若者が学校の試験期間と重なる事が多く、後継者不足に悩まされているというお話しには、「なるほど!」と逆に感心させられました。また、今年は四年に一度、山口県の祝島へ神様が船で海を行き来する「海上渡御祭」を執り行う年にあたり、特に詳しくお話しを伺う事が出来ました。

参拝後は、近くの「道の駅くにみ・レストラン美浜」にて、

姫島を眺めながら名物の車エビ料理に舌鼓を打ち、午後からは国東半島の中心にあります両子寺を訪れ、鶯のさえずりに耳を傾けながら新緑溢れる境内を散策。いくつか咲き始めた紫陽花の花を見ては、これから迎える梅雨の時期には花が咲き誇る様子を思い浮かべ、心安らぐ気持ちで帰路につくことが出来ました。

今回の親睦会は、会員の参加は十五名と若干少くはなりましたが、緩やかな時の流れの中、ゆったりとした心持ちで親睦を深めることが出来たと思います。





蓬萊雅楽会 活動報告

本会では当社恒例祭典での奏楽のほか県内の寺社仏閣での奏楽、近郊の学校に出向いての雅楽教室、神社への職場体験中学生の雅楽の体験学習などを積極的に行っております。

昨年度は、恒例のうすき竹宵に始まり、JR大分シティ屋上「ぶんぶん堂」の落慶法要、本会佐藤良純講師の宝蓮寺（臼杵市）住職継職他法要等と、例年になく奉納演奏があり、そのうちのひとつ扇森稻荷神社での雅楽奉納についてご紹介いたします。

同社は、竹田市拜田原に鎮座する「こうとうさま」として知られるお宮です。元和二年（一六一六）、岡藩主中川久盛公が稻荷神を勧請して創祀され、本年は四百年の式年を迎えるということです。三月十四日の初午式年大祭の当日、会員十七名が出向き、管絃二曲「越天楽、陪臚」、舞楽一曲「陵王」、また巫女舞「豊栄舞」を奉納させて頂きました。この日は天候に恵まれ、境内に溢れる多くの参拝者に平安の雅な一時を感じていただき、また相馬宮司様より感謝と労いのお言葉を頂戴し、少しでもお役に立てたかと思えます。

このような活動を年間通じて行っており、また毎週木曜日には神社社務所にて練習会も開催しております。宗教関係者のみならず一般の方も所属していますので日本の文化を見て聞いて触れて体験したい方、興味のある方は一度、お訪ねいただければと思います。



人事

退職

平成二十八年四月二十日付

巫女 藤野 奈保子

間近に迫りました

神輿の担ぎ手は例年約六百名となっており、今年も氏子町内や一部企業からの参加者を取りまとめています。参加希望のお問い合わせは社務所までご一報下さい。

また、各企業のご協力により境内や参道には「奉燈」が灯されますので、いざいざもご覧頂きたくどうぞご参拝をお待ちしております。

神社

七月十八日(月・祝)

午後三時 子ども神輿巡行

午後四時 宵祭

七月十九日（火）

午前十一時 夏越大祭

午後二時 大神輿巡行

※両日とも庄内神楽の奉納があります



出 発 式 13:40

①春日神社出御 14:00

②西 應 寺 14:15

③ソフトパークOEC 14:30

④東春日・肉の木村屋 14:40

⑤西春日・大野屋ビル 14:50

⑥王子中学校 15:20

⑦新春日町公民館 15:55

⑧南春日·荒金酒店 16:15

⑨大分イベントホール 16:25

⑩ 10号線・中春日交差点 16:45

●東春日・塚川病院 17:05

12 崑立美術館OPAM前 17:15

⑬ガレリア竹町西口 17:30

⑭ガレリア竹町ドーム 17:50

⑮ ト ㍻ 八 18:05

⑬大 分 駅 18:25

(夕食休憩・北口駅前広場)

大分駅 発 19:10

⑰末広町小幡齒科 19:20

⑬ヤノメガネ中央店 19:30

⑬ヤノメガネ竹町本店 19:45

②木村写真本館 20:00

②都町第一ブル 20:15

②□イヤルシティー寿 20:35

②③塾家町・松岡商事 21:05

②春日神社神門前 21:30

②春日神社還御 22:00

1. [Introduction](#)